

地区労ニュース

発行元 宇治城陽久御山地区労働組合協議会
宇治市神明宮西37番地の33
メール: ujkchikurou@zeus.eonet.ne.jp
Tel・Fax 0774-29-3374

84号

日本の夜明けは沖縄から 沖縄の知事選挙に応援

沖縄県知事選挙が10月30日告示、11月16日投票で行われます。安倍内閣は、沖縄県民の総意を無視し、住民を警察権力で弾圧しながら、辺野古新基地に建設に向けて海底ボーリング工事を強行しています。

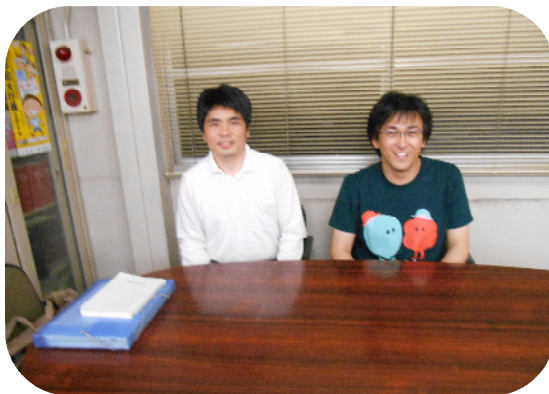
ゲート前と辺野古の海上では抗議行動が連日続けられ、抗議集会には多くの県民が結集しています。こうした中で、辺野古新基地問題を最大の争点としてたたかわれる今回の沖縄県知事選挙は、沖縄と日本の進路に決定的な意味を持っています。



選挙支援に地区労から宇野顧問が参加します。(期間は、11月10日～14日) 地区労から選挙カーンパなどを届けます。



宇治市野外活動センター嘱託職員が労働組合を結成!!



総合野外活動センター「アクトパル宇治」(宇治市西笠取)に勤務されている嘱託職員6名の方が、今年の2月25日に嘱託労働組合を結成され、宇城久地区労にも加盟していただきました。

宇治市野外活動センター嘱託職員労働組合は2014年2月25日に嘱託職員5名で結成、3月4日に結成通知書と要求書を提出して交渉を行いました。4月には新たに1名が加入して現在、6人で活動を行っています。

宇治市野外活動センター嘱託職員労働組合は、嘱託職員の待遇改善(賃金、一時金、退職金など)や労働環境の改善を求めて宇城久地区労の皆様のお力添えをいただきながら、日々取り組んでいます。

近況では、労働環境について雇用通知書に記載されている始業時間(8時30分から)と実際の勤務時間(8時から)が異なる件、休憩時間がとれない件について組合の指摘により、6月1日からやっと見直されることになりました。

しかし運営者は主催事業等のイベント時には「原則が守られなくても仕方がない」という意識が残っており、労働法規を遵守させた上での体制やイベントを組み合わせる必要があり、今後も引き続き、交渉の中で訴えていきます。



反原発福島平和ツアー報告集会

日時: 11月7日午後7時から

場所: 宇治市職員会館 2F大会議室

「戦争する国」「企業が活動しやすい国」づくりをすすめる

安倍政権の暴走に

ストップも



集団的自衛権行使は 戦争への道

安倍政権は、2013年12月、国民の反対を押し切って目・耳・口をふさぐ特定秘密保護法を強行成立させました。そして、2014年7月1日には、集団的自衛権行使を容認する閣議決定を強行し、秋以降、日米ガイドラインの再改定、2015年の通常国会では、一括関連法の成立を狙っています。これらは、憲法9条の「戦争放棄」「戦力の不保持」「国の交戦権否認」を180度転換し、「アメリカとともに戦争する国づくり」をねらっているのです。

憲法解釈の大転換を国民の議論も回避し、一内閣の閣議決定で強行するなど民主主義の否定であり、憲法に基づく政治を求める立憲主義をも否定するものであり認めることはできません。戦後、歴代自民党政権でさえ「憲法違反である」と禁止してきた集団的自衛権行使を容認した閣議決定は撤回しかありません。

戦争する国では、 くらし・権利が脅かされる

戦争する国をつくるために、戦争に参加する若者を育てようと、安倍政権は「教育改革」を急ピッチですすめています。教育を時の政権の支配下におき、戦争を「正しい」と教える教科書や、「道徳」の教科化で愛国心を子どもに押しつけようとしています。

国民から基本的人権を奪い、くらしを犠牲にして戦争につきすすんだ歴史をくりかえしてはなりません。

憲法を守り、生かして くらし・雇用の安定を

正規から非正規への置き換えが進み、賃金は10数年下がりが続け、格差と貧困は拡大し続けています。また、年金給付の削減など社会保障の改悪で安心して暮らせない実態が広がっています。さらに、安倍政権は「企業が世界で一番活動しやすい国」づくりをねらい、「残業代ゼロ法案」=過労死促進法案を準備し、働くルールを破壊しようとしています。生存権(人間らしく生きる権利)を守るために、憲法をいかに、働くルールを確立しましょう。

輝け 日本国憲法

- 9条 戦争の放棄
紛争は話し合いで解決を
- 25条 生存権、国の生存権保障義務
人間らしく生きる権利
- 27条 労働の権利・義務、労働条件の基準
働く権利と保障をうたう

